

報道関係者各位

令和7年1月8日
感染症対策センター 感染症対策グループ
感染症対策監 遠藤 攝
電話 055-223-1490

インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の発生状況 及び 今後の感染対策について

令和6年第52週（12月23日～12月29日）の感染症発生動向調査結果は次のとおりです。

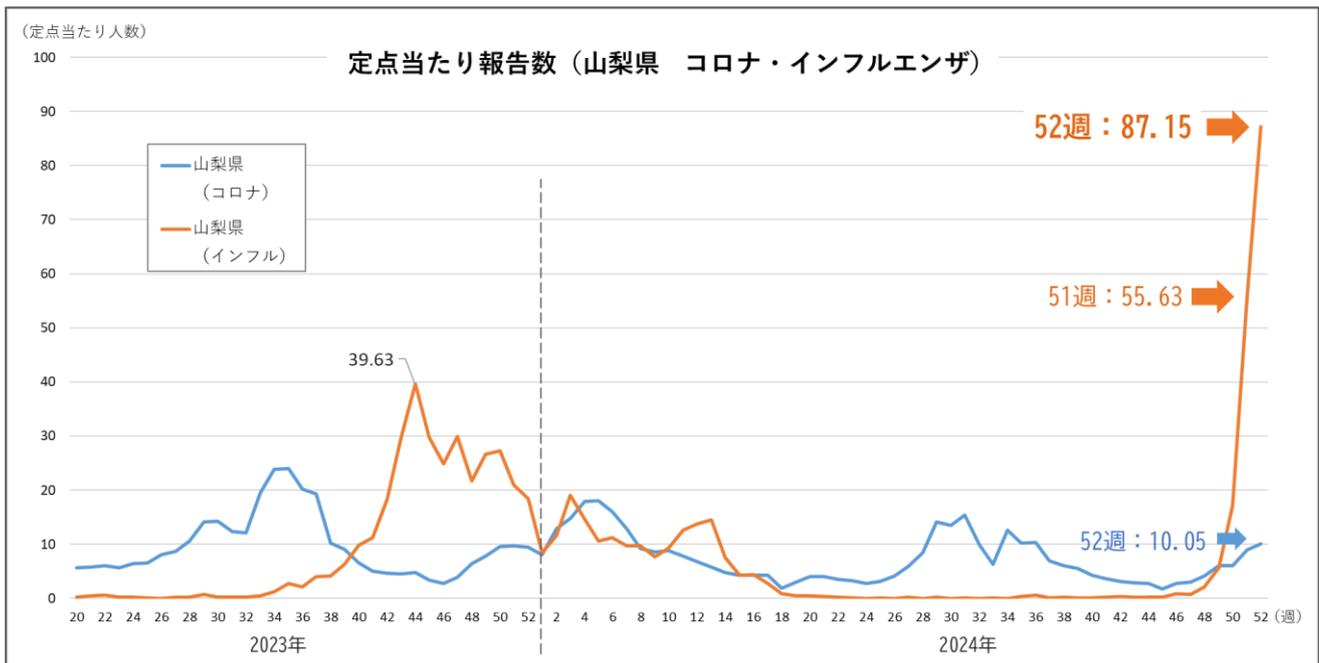
インフルエンザ：県内全域で警報継続中（過去10年最大）
新型コロナウイルス感染症：峡南保健所管内注意報レベル入り

インフルエンザの発生状況について、前週（第51週 12/16～12/22）から引き続き、警報レベル^{※1}の流行が継続しています。県全域の1定点医療機関あたり報告数87.15は平成30年第3週（1/15-1/21）の56.78を大幅に超え、過去10年で最大です。

また、中北保健所管内の1定点医療機関あたりの報告数は125.08となっており、100を超える報告は過去10年で初めてです。他管内の報告数も、過去10年の中で最大を更新しています。

新型コロナウイルス感染症については、注意報の基準値^{※2}以上となったことから感染症対策センター医師との協議を踏まえ、峡南保健所管内は注意報レベルに入ったと判断しました。

仕事始めや学校生活の再開に伴い、更なる流行の拡大が懸念されることから、裏面の予防対策を改めて県民に周知したいので、報道機関の皆様方にも御協力をお願いいたします。



- ※1 県内全体で1定点医療機関あたりの報告数が 1.00 を超える 流行入りの目安
 保健所管内で1定点医療機関あたりの報告数が 10.00 以上 注意報レベル
 保健所管内で1定点医療機関あたりの報告数が 30.00 以上 警報レベル
- ※2 新型コロナウイルス感染症注意喚起のために設定した『本県独自基準』(R6.4から運用開始)
 以下の状況を目安に、YCDC 医師との協議を踏まえ総合的に判断し発令
 保健所管内で1定点医療機関あたりの報告数が 10.00 以上 注意報レベル
 保健所管内で1定点医療機関あたりの報告数が 15.00 以上 警報レベル

【保健所別直近の定点あたりの報告数：インフルエンザ】

週	山梨県	中北	峡東	峡南	富士・東部	参考) 甲府市
52週(12/23～12/29)	87.15	125.08	71.71	52.67	71.44	71.56
51週(12/16～12/22)	55.63	80.08	65.71	42.00	34.89	37.78
50週(12/9～12/15)	17.17	24.15	23.86	7.00	7.67	14.78
49週(12/2～12/8)	5.66	11.69	3.14	2.00	2.00	3.78
48週(11/25～12/1)	2.10	3.46	1.14	1.33	1.78	1.44

【保健所別直近の定点あたりの報告数：新型コロナウイルス感染症】

週	山梨県	中北	峡東	峡南	富士・東部	参考) 甲府市
52週(12/23～12/29)	10.05	13.54	9.57	13.00	8.33	6.11
51週(12/16～12/22)	8.95	14.85	8.71	9.00	5.33	4.22
50週(12/9～12/15)	6.10	9.46	8.57	3.00	3.44	3.00
49週(12/2～12/8)	6.00	7.69	7.86	6.00	2.89	5.22
48週(11/25～12/1)	4.20	6.15	4.29	2.00	3.33	2.89

インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の予防対策

●予防するために

- ✓ 帰宅した際は、石けんによる手洗い等を行きましょう。
- ✓ 混雑した場所に行くときや、近い距離で会話するときなどにはマスクを着用しましょう。
- ✓ 十分な睡眠・休養をとり、体調を良好に保つよう心がけましょう。
- ✓ 室内ではこまめに換気をしましょう。
- ✓ 受診の付き添いや高齢者施設等への面会など、重症化リスクの高い人(高齢者や基礎疾患のある人など)と接する場合には、自分の体調は良好であっても予防対策をしっかりと行いましょう。
- ✓ 重症化を防止するため、医師と相談し予防接種を検討しましょう。

●キーワードは「咳エチケット」

- ✓ 咳・くしゃみの症状がある場合は、必ずマスクを着用する。
- ✓ マスクがない場合は、ハンカチなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむける。
- ✓ マスクは説明書を読んで正しく着用する。

●高熱が出る、呼吸が苦しいなど体調が悪い場合は

- ✓ 医療機関の受診をご検討ください。
- ✓ 医療機関を受診する際はマスクを着用しましょう。
- ✓ 外出を控え、十分な休養を取りましょう。